

参 考 资 料

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
県下共通	○平成18年4月から開催した「土佐二十四万石博」への協力・支援
東部地域共通	<p>○「高知東海岸100物語交流メニューづくり事業」(高知県東部観光開発促進協議会) H17テーマ 町並み・花めぐり・海遊び・川遊び H18テーマ モノづくり・食・ハイキング・産業観光</p> <p>○「自然・田舎体験ツアー」の開催(ごめん・なはり線活性化協議会)</p> <p>○「出張! 高知東海岸 海・山・体験なんでも新鮮市」の開催(安芸広域市町村圏事務組合)</p> <p>○スタンプラリーの実施(ごめん・なはり線活性化協議会)</p> <p>○県東部地域の街並み保存や案内に取り組む団体のネットワーク化及びイベントの開催</p>
室戸市	<p>○奈良県の進学塾の体験ツアーの受入れを行うことで、教育旅行向けの体験学習メニューづくりを行った。(室戸市～北川村)</p> <p>○地域振興と人材育成の推進を目的とした「体験型観光ひとづくりセミナー」の開催</p> <p>○室戸広域公園野球場の活用(大学4校 延べ36日間)、四国アイランドリーグの開催支援</p> <p>○食の魅力を生かした取組み ①県内ホテルでの「室戸うまいものパーティー」の開催(海洋深層水関連商品、特産物のアピール) ②室戸の春の味覚を食するキャンペーンとして調理師会による季節限定メニュー「春つげ御膳」、「海のまつたけ七色メニュー」の提供</p> <p>○室戸海洋深層水を活用したタラソテラピー施設を中核とした「室戸ディープシーワールド」を整備した。</p> <p>○室戸岬園地展望台・駐車場整備・園地遊歩道の整備改修</p> <p>○環境美化・景観保護の取組み ①一足先に春を感じてもらおう「菜の花の植栽」、観光美化キャンペーンの実施 ②観光開きの前にボランティアによる室戸岬周辺の一斉清掃 ③吉良川の街並みの保存事業の実施により、歴史的景観の保全を図った。</p> <p>○観光ホームページのシステム修正により、旬の情報やイベント情報を発信</p>
安芸市	<p>○旅行会社の企画する環境学習旅行の体験メニューとして、環境保全型農業の学習ができるナスの収穫や料理体験を組み入れた。</p> <p>○地元住民が主体となり白蓮祭りを開催</p> <p>○食の魅力を生かした取組み ①タイガースメニューの開発・販売として、阪神天津、トラボナーラなどを2月からのスプリングキャンプにあわせて、安芸市内の飲食店で販売した。タイガースのキャンプ地や安芸市の新しい食としてPRできた。 ②市内11店舗が参加して、各店舗オリジナルの「釜揚げちりめん丼」を提供(安芸商工会議所) ③内原野地区への交流直販施設の建設により、陶芸館や安芸広域公園を訪れる観光客に対して、これまでになかった「食」を提供できるようになった。</p> <p>○伝統的な窯業施設であり、全国的にも数少ない「登り窯」を建造し、焼き物のメッカとして陶芸の里づくりを推進。手づくり登り窯フェスタなどイベントでの活用や陶芸愛好家らが利用</p>

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
	<p>○二次交通対策として、安芸駅ちばさん市場に無料レンタサイクル30台を整備。内原野つつじ祭り開催期間中の日曜日にボンネットバスを運行</p> <p>○観光ボランティアガイド養成講座を5回開催し、観光案内マニュアルの作成、観光案内ガイドマップを作成した。</p> <p>○ホームページのリニューアルにより、旬の情報の提供が可能となった。</p> <p>○マスコミ等への情報発信を積極的に行った。こうした取組みの成果として、JR四国の旅倶楽部会報誌への特集により、安芸市へのツアー企画成立。内原野陶芸館や釜あげちりめん井など安芸市のPRに繋がった。</p>
東洋町	<p>○町のホームページのリニューアル ・「楽市・楽座ページ」で飲食・宿泊業等観光関連業の情報発信</p> <p>○観光ポスターのリニューアル</p> <p>○環境美化・景観保護の取組み ①白浜海岸・生見海岸・野根川の清掃活動 ②トイレ内に利用マナー向上の呼びかけや景観保護を呼びかけるリーフレットを作成し掲示 ③徳島県海陽町「竹ヶ島」及び東洋町甲浦周辺の自然再生を目的とした「竹ヶ島自然再生協議会」に加入し自然再生事業に取り組む。 ④クリーンアップ活動団体「ビーチクリーン土佐」への協力</p>
奈半利町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み ・サンゴウォッチング、大敷き漁体験を取り入れたイベントの実施 ・サンゴ遊覧船の定期運航開始 ・観光釣りイカダの設置</p> <p>○地域提案型雇用創造促進事業(厚生労働省所管) ・体験型観光インストラクター研修 ・特産品魅力アップスキル養成研修 ・海・山の食材を活用した郷土料理を提供するために「食の達人」育成研修</p> <p>○「漁師の駅」(地場産魚の販売所)の設置</p>
田野町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み ・だるま太陽展の実施及び過去の入選作品を東部地域の市町村等で展示しPRに努めた。 ・年末にイルミネーションの点灯及びイベントの実施</p> <p>○地場産品加工施設の設置(味噌の販売や地域グループとの検討を実施)</p>
安田町	<p>○わがまちの特産品開発事業 農林水産物を活用した新商品の開発、生産加工、普及宣伝等商品を販売。特産品としていくための活動等に対し、2団体に助成金を交付。</p>
北川村	<p>○奈良県の進学塾の体験ツアーの受入れを行うことで、教育旅行向けの体験学習メニューづくりを行った。(室戸市～北川村)</p> <p>○北川温泉の施設をリニューアル</p> <p>○特産の柚子を使った田舎寿司体験ツアーの実施</p>
馬路村	<p>○森林や農業、農山村の文化を活用したプログラムの開発</p> <p>○交流人口の拡大を目的として、村の応援団100名による「全日本選抜チーム」とともに、運動会を実施した。</p> <p>○特産の柚子を使った田舎寿司の体験ツアーの実施</p>

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
芸西村	○地域資源∞全国展開プロジェクト(経済産業省所管) 地域コンシェルジュサービス創出の取組み(芸西商工会)
南国・香美地域 共通	○観光ビジョン策定メンバーが中心となった南国・香美「旅の福袋楽会」による体験型観光資源の発掘支援 ○エージェント招聘事業の実施(高知中央広域市町村圏事務組合) ○スタンプラリーの実施(同上)
南国市	○観光資源の保護、発掘、育成の取組み ①観光協会主催による一日観光(史跡めぐり)の実施 ②つらゆき時代祭りの実施(南国市商工会) ③棚田を利用した水芭蕉の栽培(桑の川)による地域活性化 ○食の魅力を生かした取組み ①地元食材を使用した「しらゆり亭」の立ち上げと観光ツアーの企画 ②「ありがとう煎餅」の販売開始(生姜アメ研究会) ③県内各地の郷土料理と食に関する地域の文化や歴史を学ぶ講座の開催(県立歴史民俗資料館) ④県内で開催されたプロゴルフツアーでの特産品・土産物の販売 ⑤シラス釜揚げの実演販売 ○白木谷梅林への仮設トイレの設置(観光協会) ○観光案内看板の設置(ごめん・なはり線立田駅) ○ゴールデンウィーク期間中の観光案内の実施 ○中国からの訪日教育旅行団との学校交流の実施(南国市立岡豊小・国分小・十市小) ○観光情報の発信を促進する取組み ①ウェルカムサービス(観光案内)の実施 ②南国市ホームページでの観光情報発信 ○高知中央広域市町村圏事務組合主催の物産展(ひろめ市場)での南国特産品のPR
香南市	○奈良県の進学塾の体験ツアーの受入れを行うことで、教育旅行向けの体験学習メニューづくりを行った。(香南市～本山町) ○特産品であるラッキョウを加工した商品「はまびじん」の販売 ○絵金蔵を中心とした町歩きの体制整備 ○地域を案内する観光ガイド組織として「山北文化の会」の組織化
香美市	○観光資源の保護、発掘、育成の取組み 奥ものべ体験型観光推進事業の実施(H15～17) ①体験型観光指導者の育成 ②体験型観光プログラムの作成 ③モニターツアーの実施 ④体験内容を紹介した、奥ものべ体験パンフレットの作成 ⑤旅行会社の企画する環境学習旅行の体験メニューとして、間伐体験などをメニューに組み入れた。 ○廃校となった施設を活用して体験宿泊交流施設の整備(香美市平山地区)

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
<p>本山町</p>	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①休校施設と森林を活用した地域資源の活用プログラムの開発</p> <p>②奈良県の進学塾の体験ツアーの受入れを行うことで、教育旅行向けの体験学習メニューづくりを行った。(香南市～本山町)</p> <p>③旅行会社の企画する環境学習旅行の体験メニューとして、間伐体験やラフティング体験をメニューに組み入れた。</p> <p>④棚田農村農業体験交流の実施(1泊2日のツアー:田植えと稲刈り体験を年2回開催 とさ千里里帰りツアー)</p> <p>⑤地元グループ等による、地元食材を使ったメニューの提供</p> <hr/> <p>○農産物の直販施設のオープン</p>
<p>大豊町</p>	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>グリーンツーリズム体験メニューの実施(田植え体験・稲刈り体験・山菜狩り体験・そば・餅つき体験)</p> <hr/> <p>○食の魅力を生かした取組み</p> <p>参勤交代道中弁当「春霞」の提供</p>
<p>土佐町</p>	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①棚田農村農業体験交流の実施(1泊2日のツアー:田植えと稲刈り体験を年2回開催 とさ千里里帰りツアー)</p> <p>②地元グループ等による、地元食材を使ったメニューの提供</p>
<p>高知市</p>	<p>○観光資源の保護・発掘・育成の取組み</p> <p>①「土佐のおきゃく」の開催</p> <p>②よさこい振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よさこい祭りの運営に対する財政的支援、特別イベントの実施 ・よさこい全国大会の開催 <p>③桂浜及び日曜市の活性化に向けた振興計画等の策定</p> <p>④龍馬推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂浜で龍馬の偉業を称えるイベントとして実施した。 ・桂浜の龍馬像と同じ目線で景観を楽しめるイベントを行った。 <p>⑤桂浜公園で「お月見の夕べ」を開催</p> <p>桂浜の砂浜にススキ約3,000本を植え込み、酒・団子等をお供えし、「月の名所」桂浜をPRした。</p> <p>⑥プロ野球キャンプ対策事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリックス・バファローズ春季キャンプの実施に対し、財政的支援を行うとともに歓迎セレモニーや陣中見舞いを行った。 ・大阪ドームで開催されるよさこいシリーズの応援ツアーや観光宣伝の実施 ・オリックス2軍のサーパス神戸の公式戦(ウエスタンリーグ)に対し、財政的支援を行った。 <hr/> <p>○南国土佐皿鉢祭り</p> <p>皿鉢料理(約180点)を展示。北見市・岡山市・徳島県等の物産コーナーを設置</p> <hr/> <p>○地域と宿泊事業者が連携したホテル鑑賞ナイトツアーの実施</p> <hr/> <p>○二次交通の整備</p> <p>高知市内の観光地である、桂浜・五台山と高知駅を結ぶMY遊バスの運行に対して財政的支援を行った。</p>

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
	<p>○観光案内所の運営等</p> <p>①JR高知駅、インフォメーションセンター、桂浜、街路市で観光案内所業務を実施</p> <p>②ゴールデンウィーク期間中、桂浜、高知城、JR高知駅に臨時の観光案内所を設置。また、桂浜の渋滞緩和のための臨時駐車場を開設し、送迎バスを運行。</p> <p>○南国土佐観光びらき清掃 本格的な観光シーズンに向けて市内中心部で観光関係者による清掃活動を実施</p> <p>○土佐観光ガイドボランティア協会への支援</p> <p>○エージェント招聘事業・スタンプラリーの実施(高知中央広域市町村圏事務組合)</p> <p>○観光物産展の開催等</p> <p>①北見市で開催された菊まつりにおいて、高知市の物販や観光宣伝を行った。</p> <p>②きたみ東急百貨店において開催された「高知県の観光と物産展」に参加し、物販や観光宣伝を行った。</p> <p>○四国四市観光交流宣伝事業 四国四市で共同観光パンフレットを作成、配布するとともに、高松市において、共同キャンペーンを実施</p>
土佐市	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み 宇佐しおかぜ公園の利活用の取組み</p> <p>①ホエールウォッチングのPRを行うとともに、旅行会社の企画する環境学習旅行の体験メニューとして、宇佐のホエールウォッチング体験をメニューに組み入れた。また、雨天時メニューについて検討を行った。</p> <p>②宇佐しおかぜ公園で宇佐大鍋祭りを開催し、直径2mの大鍋で作るアサリ汁やかつおのタタキの実演販売を行った。</p> <p>③地域産業連携による都市観光客の受入れメニュー作りと観光PR。しおかぜ公園の利活用のための土曜市の充実について検討</p> <p>④ホエールウォッチングの発着点であるしおかぜ公園内の管理棟東に面するコンクリート堤防壁面に、くじらをモチーフとした壁画が高岡高校美術部によって完成した。</p> <p>○食の魅力を生かした取組み 全国有名朝市(岡山市)へ参加し、かつおのタタキ及び塩干物の販売や土佐市のPRを行った。</p> <p>○既存の観光案内板3箇所整備、土佐IC出口など6箇所の観光案内看板の設置</p> <p>○JICA留学生・国際交流員に夏の祭典「大綱まつり」に参加してもらって交流を図った。</p> <p>○ホームページをリニューアルし、より新しい情報を発信した。</p>
春野町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①あじさいまつり(あじさいウォーク、郷土芸能(西畑人形))の開催</p> <p>②菊の森</p> <p>○はるのさんさんくろしお市の開催(地引き網体験や地元の水産物・農産物等の販売)</p> <p>○春野ナビ(ホームページによる春野町の観光情報等の発信)</p>

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
いの町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①いの町観光資源再発見事業の実施 いの町観光協会が設立され、町の資源活用プランの策定や観光資源を紹介したイラストマップを作成した。また、映画ロケ地めぐりツアー、かみの町いのひな祭りを開催した。</p> <p>②いの町グリーンツーリズム研究会、農山漁村女性グループ研究会の活動の支援</p> <p>③旅行会社の企画する環境学習旅行の体験メニューとして、土佐和紙工芸村くらうどのカヌーや紙漉き体験などをメニューに組み入れた。</p> <p>④氷室まつり、仁淀川紙のこいのぼり、ほのほの王国もみじまつりなどイベントの開催</p>
仁淀川町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①グリーンツーリズムを推進するためのガイドの育成やルートマップ、案内看板の作成</p> <p>②「遊学の里」と題して、間伐や木工教室などの森林体験学習を実施</p> <p>○「うど採り」と題して、うど採りや山菜料理の食事会などを開催</p>
佐川町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>“おがわ秋まつり”で、ふれあいの里尾川のシルク工房で機織りや染め物体験教室を開催（尾川地区活性化協議会）</p> <p>○酒蔵見学と家庭料理を楽しむ「佐川を味わう風土・FOOD」の開催</p> <p>○地域を案内する観光ガイドとして「佐川くろがねの会」の組織化</p> <p>○牧野富太郎博士ゆかりの花をモチーフに商店主や地元高校生を中心に商店街のシャッターにペイントを実施（企画本舗さかわ屋）</p>
越知町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①地域活性化グループ主催のツアーの実施（虹色の里横畠：山菜採り・茶摘み・芋煮会、なごみの山里：あじさい刈り）</p> <p>②町のシンボルでもある横倉山の自然の良さを多くの人に知ってもらうために、越知町横倉山ウォーキングを開催</p> <p>③各種イベントの開催 によどかあにばる、コスモス祭りなどイベントの開催</p> <p>○産業祭において地元食材で5種類のコロッケを試作販売</p> <p>○横畠地区の農産物、山菜等を利用した加工品等を芋煮会での申込みにより発送販売を行う。（虹色の里横畠によるふるさと便）</p> <p>○全国環境美化の一環として、町内一斉清掃を実施</p> <p>○町内で行われる各種イベントの情報をインターネットを利用し発信（越知町観光協会）</p>
日高村	<p>○6月を環境月間と定め、安全快適な環境づくりを目指して、村内一斉清掃を実施</p>

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
高幡広域共通	<p>○広域観光に向けた取組みの推進（高幡広域市町村圏事務組合）</p> <p>①ホームページのリニューアルや四季折々の行事を紹介したパンフレットの作成</p> <p>②体験型観光に取組みについての勉強会の開催</p>
須崎市	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①ドラゴンカヌー体験型教育旅行の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿圏の旅行会社に対して、ドラゴンカヌー体験や地元食材での交流などを中心とした教育旅行の誘致活動を実施 ・PR用DVDを作成し、近畿圏を中心に誘致活動を実施 ・旅行会社の企画する環境学習旅行の体験メニューとして、ドラゴンカヌーをメニューに組み入れた。 ・ドラゴンカヌー陸上練習施設の整備 <p>②須崎の食文化及び浦ノ内での海上遊覧等のモニターツアーの実施</p> <hr/> <p>○食の魅力を生かした取組み</p> <p>①「海の駅 須崎の魚祭りの実施」</p> <p>②須崎名物「鍋焼きラーメン」のPR活動（与島の瀬戸大橋イベントや県内イベントで提供）</p> <hr/> <p>○環境美化・景観保全の取組み</p> <p>①みんなで須崎を美しくする会主催により、シンボルロード・富士ヶ浜清掃活動を月2回実施</p> <p>②須崎市観光協会、市、浦ノ内地区住民会議による横浪黒潮ラインの景観アップ大作戦の実施</p> <hr/> <p>○高速道路の延伸に備えて、まち全域のサービスエリア化を目指したSAT（サービスエリアタウン）構想の策定</p>
中土佐町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>久礼・上ノ加江・矢井賀地区における体験型観光の取組み</p> <p>①体験指導者の育成</p> <p>②体験型観光プログラムの作成</p> <p>③観光客受入れのためのモニターツアー</p> <p>④体験型観光プログラム紹介パンフレット等の作成</p> <p>⑤国道からの案内板の設置</p> <p>⑥旅行会社の企画する環境学習旅行の体験メニューとして、漁業体験などをメニューに組み入れた。</p> <p>⑦奈良県の進学塾の体験ツアーの受入れを行うことで、教育旅行向けの体験学習メニューづくりを行った。（津野町～中土佐町）</p> <hr/> <p>○上ノ加江漁協に体験施設「わかしや」が完成</p> <hr/> <p>○高知体感おもてなしツアーの受入実施</p> <hr/> <p>○かつおのタタキづくりの実演、出張販売やウェブショップによる販路開拓</p> <hr/> <p>○養殖コンブの種付けや収穫を行う「こんぶ美人」オーナー制度の実施</p> <hr/> <p>○ホームページのリニューアルによる観光情報の発信強化</p>
津野町	<p>○津野町観光ビジョンの検討</p> <p>津野町観光の将来像を町民参加で描こうと「津野町観光ビジョン検討委員会」を立ち上げ、各拠点施設や商工会、観光案内組織、地域づくりグループ、体験受入団体等のメンバーによる、観光から地域産業の活性化を図るための協議を実施</p>

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①津野町の観光資源の洗い出しと確認を行った。新たな観光資源「風力発電」の本格稼働の時期に、町単独で大型観光地「天狗高原」と連動させた津野町のイメージCMを製作するなど観光資源のPRに努めた。また、体験型・滞在型観光を推進するため、体験を受入れるための体制整備や拠点施設の交流とネットワーク化を図り、津野町全域の連携による滞在型観光が可能となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津野町イメージCM製作 ・津野町観光パンフレット印刷 <p>②森林セラピーの活用 第Ⅰ期森林セラピーロードの認定を受けたことにより自然体験を核とした観光メニューづくりやモニターツアーを実施。(ウォーキング、自然体験、伝統芸能の鑑賞、食の体験、森林セラピーマップを作成)</p> <p>③津野町風の里公園の整備</p> <p>④奈良県の進学塾の体験ツアーの受入れを行うことで、教育旅行向けの体験学習メニューづくりを行った。(津野町～中土佐町)</p> <p>○津野町滞在型交流拠点施設等ネット会議を立ち上げた。(各施設を訪問し試食・意見交換会、モニターツアーの試食会、先進地視察研修の実施)</p> <p>○地域の案内人の育成</p> <p>①「津野町観光案内ネット会議」の設置 国道沿いのコンビニエンスストアやガソリンスタンドなど観光客の立ち寄り先において観光案内を積極的に行っていただくため「観光案内ネット会議」を立ち上げ、観光名所やリアルタイムな道路情報の提供など、行政と連携しながら、観光案内の現場を担っていただくことになった。 その他にも、老人クラブやボランティアグループなど地域の住民が「光る」観光を目指す取組みをスタートさせた。</p> <p>②ボランティアガイドの育成 観光ガイドボランティア講習会の開催</p> <p>○食の魅力を生かした取組み 「食」に関する取組みを行っている津野町内の組織、関係者が集い、お互いに情報交換を図るとともに、津野町の地産地消、健康づくり、食育の観点から連携した取組みを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域まるごと食べちゃうぞフォーラム開催 参加者(生産者、加工組織、農村女性リーダー、食生活改善推進協議会、健康づくり婦人会、学校関係者、観光施設などの関係者、農業振興センター、津野町等) ・「地域まるごと！津野町の食材を使おう料理レシピ集」の作成 <p>○「天狗高原」への町有バスの運行(1日2往復)</p>
梶原町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①森林セラピー基地の認証の取得</p> <p>②農家民宿や本格的な紙漉体験施設の完成(上舞体験施設)</p> <p>③四万川田んぼオーナー制度の実施</p> <p>④龍馬脱藩の道の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原龍馬会が本格的に活動を開始。龍馬脱藩の道の案内を行う。地域活力支援センターに窓口を設置。 ・葦が峠(県境)に手作りの門柱を設置。 <p>○食の魅力を生かした取組み</p> <p>①農家民宿・農家レストランにおいて地域食材を生かした料理を提供</p> <p>②雲の上のホテルによる地域産材を利用した料理教室の実施</p> <p>③鷹取の家を利用した地域・観光産業の推進</p>

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
	<p>○環境推進員の活動（草刈り、ゴミ拾い等）、町内一斉清掃、河川清掃、千枚田オーナー制度の継続、景観条例策定に向けた検討会</p> <p>○町内各地区で生涯学習を推進。地域の文化継承を行う。</p>
四万十町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①観光協会主催によるトレッキングイベントを開催した。</p> <p>②観光協会主催で農村民泊のさきがけである大分県安心院町から講師を招いて勉強会を行った。</p> <p>③協働の森づくり事業の一環として、下刈りや間伐体験などを行った。</p> <p>④農家民宿の開業</p> <p>○ハイキングコースやトレッキングコースの整備に向けた取組み</p> <p>①NPO法人「窪川里山を守る会」が里山を造り、次世代に伝えていこうと「天竺野里山自然公園」をオープンさせた。</p> <p>②観光協会が古木、巨木調査を行った。</p> <p>○トレッキングコースの案内板を設置した。</p> <p>○興津青少年旅行村の旧式トイレ、トレーラーハウスの改修</p> <p>○37番札所岩本寺の近くに間伐材を利用したログハウス風休憩所を建設した。</p> <p>○地域を案内する観光ガイド「大正美人の会」の組織化</p> <p>○食の魅力を生かした取組み</p> <p>①十和地区において「おもてなしツアー」を実施。大正地区においては、「四万十の食シリーズ」を開催。商工会青年部と4Hクラブによる異業種交流から始まった「窪川地酒クラブ」の田植え、稲刈り体験の実施。</p> <p>②十和地区において農林産物の産地直送販売を月に15～16回、高知市を中心に実施している。</p> <p>③道の駅が地元食材を生かした新製品を発売した。（仁井田米カステラ、ロールケーキ、パン、もなかアイス、鮎井）</p> <p>○四万十川と興津海岸の一斉清掃の実施</p> <p>○観光情報の発信を促進する取組み</p> <p>①四万十町ホームページ内の観光・イベント情報の充実、携帯電話専用サイトの開設</p> <p>②観光協会ホームページの充実</p> <p>③四万十町展の開催</p> <p>④四万十町観光パンフレットを2種類作成し、QRコードを印刷し、携帯電話から四万十町ホームページへ簡単にアクセスできるようにした。</p> <p>⑤観光ボランティアグループ「窪川町呼坂友の会」が、松葉川地区の新たな観光スポットを売り出すため、ガイドブックを作成した。</p> <p>⑥観光ボランティアガイドによる山内家縁の地の調査、山内家縁の地ボランティアガイドブックの作成</p>

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
幡多地域共通	<p>○幡多地域の教育旅行の受入窓口の一元化や料金体系の確立、体験プログラムの開発提案、インストラクター養成についても合わせて実施するとともに、誘致活動など情報発信事業を実施した。(幡多広域観光協議会)</p> <p>○四万十川観光実践プラン事業(四万十川広域観光推進協議会 国土交通省所管)</p>
四万十市	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①体験型観光受入研究会を設立し、地域の特性を生かした体験メニュー作り、教育旅行誘致活動、先進地視察、インストラクター研修を実施した。</p> <p>②四万十冬季滞在型観光モニターツアーの実施</p> <p>③農家民宿の開業</p> <p>○社会人及び大学等の野球チーム春季キャンプ受入れ(社会人1チーム11日間、大学等2チーム11日間)</p> <p>○食の魅力を生かした取組み</p> <p>①郷土料理レベルアップ講座の開催 各地域に伝えられている郷土料理や自慢の料理を、新たな発想で磨き上げ、農家レストランや農家民宿などのメニューのレベルアップを目指して開催</p> <p>②地場農産物を商品化したイモ天プラや野菜のかき揚げなどをイベントや観光施設に置いていただくなど、販路拡大に向けて積極的に取り組んでいる。(平野いやしの里グループ)</p> <p>○二次交通の整備 市内の主要駅である中村駅と江川崎駅を結ぶ四万十周遊「川バス」をゴールデンウィークと夏季の観光シーズンに運行し、1日3便と少ない路線バスを補完。観光シーズン中の観光客の交通手段の確保及びJRトロッコ列車、土佐くろしお鉄道と連携し相乗効果を図る。</p> <p>○環境保全や景観保護の取組み</p> <p>①四万十川条例に基づく、黒尊川流域の人と自然が共生する地域づくり協定の締結</p> <p>②本格的な観光シーズンを前にした観光関連団体による四万十川清掃活動の実施(テナガエビ清掃)</p> <p>③季節ごとの花(菜の花・桜・藤・あじさい)をテーマにした四万十花まつりキャンペーンの実施(四万十市観光振興連絡会議)</p> <p>○観光ボランティアの育成等の取組み</p> <p>①四万十観光ガイド育成講座の開催 地域にある産業や資源を見直して、新しいサービスをプラスすることで、観光による地域の活性化に成功した事例を学ぶことを目的として開催。地元の専門家等を講師に観光ガイドの育成を実施した。</p> <p>②四万十おもてなし講座の開催(地域提案型雇用創造促進事業 厚生労働省所管) おもてなしの精神に満ち溢れ専門的能力の高い人材の育成を目的に開催</p> <p>③四万十フィールドインストラクター育成講座の開催(地域提案型雇用創造促進事業 厚生労働省所管) 第1回カヌーインストラクター接客向上研修 第2回野外体験活動指導者育成研修 第3回河川における水難救助技術習得研修</p>

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
宿毛市	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①「宿毛ブルーツーリズム推進協議会」の設立 宿毛市の漁村文化や海洋資源を生かした体験型観光を推進し、交流人口の増加による宿毛市の活性化に寄与することを目的として設立。(財)漁港漁場漁村技術研究所の都市漁村交流促進事業に係るアドバイザー派遣事業による体験型観光の勉強会及びメニューの提案・助言等。先進地視察として「第4回全国ほんもの体験フォーラムinながさき」に参加。</p> <p>②奈良県の進学塾の体験ツアーの受入れを行うことで、教育旅行向けの体験学習メニューづくりを行った。(黒潮町～四万十市～宿毛市)</p> <p>③沖の島・鶴来島モニターツアー 「離島の総合交流推進」支援事業による離島ツアー 定置網体験、海遊体験、海水浴、ウォーキング、バーベキュー、お祭り体験、磯遊び、登山、栈橋釣り、集落の散策</p> <p>④四国西南部の旅モニターツアー 2泊3日の行程で宿毛市・愛南町・宇和島市を旅行するフリープランを参加者が作成するモニターツアーの開催</p> <p>⑤「四国さいはて海の絶景」旅行商品の企画・造成 四国運輸局・宇和島市・愛南町・宿毛市によるパンフレット作成。公共交通を利用した観光に対して特典あり。JR四国の駅のみどりの窓口等や四国内の主な旅行会社で配布</p> <p>⑥社会人及び大学の野球チーム春季キャンプ受入れ(社会人1チーム12日間、大学2チーム20日間)</p> <p>⑦観光資源の保護 足摺宇和海国立公園沖の島海中公園オニヒトデ等駆除事業</p> <hr/> <p>○豪華客船入港歓迎イベント H17・5回、H18・4回入港 歓迎セレモニー、地場産品等の販売、特産品サービスコーナー、出航イベント</p> <hr/> <p>○橋上小・中学校・篠山観光開発協議会及び関係者による篠山周辺の清掃。案内看板の設置</p> <hr/> <p>○アイランダー2006の開催 H18年11月25～26日に東京池袋にて沖の島・鶴来島の物産販売とPRを行う。</p>
土佐清水市	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①ウォーキング大会の開催 足摺岬、その先端部に位置する四国霊場第38番札所金剛福寺への参拝道として利用されてきた遍路道、この観光資源を活用し今全国的に人気のあるウォーキング大会を実施した。</p> <p>②地域資源∞全国展開プロジェクト(経済産業省所管) 松尾地区における観光開発と特産品開発モデル事業(土佐清水商工会議所)</p> <hr/> <p>○まるごとやさしい観光地づくり事業 土佐清水市を訪れる方に真心の伝わるわかりやすい情報を提供し、ボランティアをはじめ、市民がもてなす優しい観光を目的に実施</p> <p>①道案内や休憩所を提供してくれる場所を示す道しるべステッカーの作成</p> <p>②地域のボランティアが活動する新しい地域にもスポットを当て、観光客の流れを作るための案内看板の設置</p> <p>③上記のステッカー、看板の位置を示す地図を掲載したパンフレットを作成し、これまでもよりわかりやすく、県外客に対し周知徹底し、情報を効果的に発信する。</p>

○高知県観光ビジョンの基本方針に基づく主な取組み(参考資料)

市町村名	平成17年度以降の主な取組み内容
	<p>○観光セミナーの開催 一般市民を対象とした観光セミナーを5講座開催。土佐清水市民が、いつ、どんな場所でも観光客に真心で接遇して、土佐清水市の文化や歴史・自然景観の素晴らしさに自信と誇りを持っていきいきとガイドが出来ることを願い実施</p> <p>○地域産物販売・提供施設「海鮮館 大漁屋」が完成</p>
黒潮町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①体験プログラムづくりやモニターツアー、プロモーション活動の実施（こうちフィールドミュージアム事業）</p> <p>②修学旅行生等の体験学習の受入れを行った。（ホエールウォッチング、ビーチコーミング、海釣り、磯遊び、川エビ採り、かつおのタタキづくり体験、塩づくり体験）</p> <p>③体験型観光を実践している団体による「SAGA体感ネットワーク協議会」の組織化</p> <p>④奈良県の進学塾の体験ツアーの受入れを行うことで、教育旅行向けの体験学習メニューづくりを行った。（黒潮町～四万十市～宿毛市）</p> <p>○廃校となった施設を活用した体験宿泊交流施設の整備(黒潮町蜷川地区)</p>
大月町	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①大月コスモスまつり 四国内の道の駅や幡多地域内の主要箇所へのポスターやチラシの配布と、台風による塩害を散水により食い止めた姿が、新聞で報道され、宣伝効果によりたくさんの来場者を記録した。会場内では地場産品の販売などを通じて地域特産品のPRを行うなど、交流人口の増加による波及効果が見られた。</p> <p>②体験型観光の取組み 大月町観光協会が主体となって、教育旅行を中心に一般旅行客も視野に入れた受入態勢の構築のため、関係者による「大月町体験型観光受入研究会」を組織し、体験型観光プログラムの創出と受入態勢整備に向けた検討を行った。また、全国ほんもの体験フォーラムへの参加や、先進地の講師による学習会の開催等を行った。</p> <p>○環境保全や景観保護の取組み 海と人との共存を目指した「里海づくり」の推進によるエコツーリズムの実施</p>
三原村	<p>○観光資源の保護、発掘、育成の取組み</p> <p>①地域性のあるイベントとして「どぶろく」を復活開催</p> <p>②清流まつりなど既存のイベントの開催</p>